様式1

推　　薦　　書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 入学年次 | 20○○年度 | 分野名 | ○○○学 |
| 早期課程修了申請者氏名 | 大阪　太郎 |
| 研究指導教員氏名・印 | 教授 | ○○　○○　　印 |
| 研究教授学位指導ができる准教授 | ○○　○○　　印 |
| ※赤字は印刷時に削除してください。※専任教授が研究指導者の場合は、教授欄のみ押印※「研究教授」もしくは「学位指導ができる准教授」が研究指導者の場合は、教授欄も押印。※「研究教授」「学位指導ができる准教授」：専任教授が不在の分野において大学院生に対して研究指導が認められた教員。 |

様式2

在学期間における研究活動の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 入学年次 | 20○○年度 | 分野名 | ○○○学 |
| 早期課程修了申請者氏名 | 大阪　太郎 |
|  |

様式3

研　究　業　績　目　録

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 入学年次 | 20○○年度 | 分野名 | ○○○学 |
| 早期課程修了申請者氏名 | 大阪　太郎 |
| ※赤字は印刷時に削除すること※論文発表、学会発表等を記載(主論文）大阪　太郎、阿倍野　次郎、杉本　花子、市大　太郎　Contribution of Matrix, Fusion, Hemagglutinin, and Large Protein Genes of the CAM-70 Measles Virus Vaccine Strain ・・・・・・・○○○○○　26:93-98(2013)　(副論文)大阪　太郎、阿倍野　次郎、杉本　花子、Vigileo-FloTrac system in measuring cardiac output・・・・・・・○○○○○　193:5766-5774(2013)　(共著論文)阿倍野　次郎、杉本　花子、大阪　太郎、市大　太郎Characteristic of Mycobacteria smegmatis J15cs・・・・○○○○○　34:503-507(2012)　(学会発表・筆頭演者）第〇回日本〇〇〇学会総会（2013.9.6-10　東京）大阪　太郎、阿倍野　次郎、杉本　花子、市大　太郎　Contribution of Matrix, Fusion, Hemagglutinin, and Large Protein Genes of the CAM-70 Measles Virus Vaccine Strain ・・・・・・・(学会発表・共同演者)100th General Meeting the American Society for 〇〇〇阿倍野　次郎、杉本　花子、大阪　太郎、市大　太郎（2012.3.18-20 Sun Francisco）Characteristic of Mycobacteria smegmatis J15cs・・・・ |

様式4

論文題目（原題）

原題に対する和訳もしくは英訳

（主論文の内容の要旨）

1文字分スペースを空けること

大阪公立大学大学院医学研究科　○○○○学

大阪　太郎

科目主担当および研究指導　○○　○○　教授

研究指導を届け出ている場合の記載

　科目主担当　○○　○○　教授

　研究指導　　 ○○　○○　教授

【目的】

※【目的】以下、内容の要旨を800字程度で記載すること。（邦文）

※すべての項目を必要としないが、なるべく近い形で作成し、必ず1枚に収めること（1行の文字数、行数を変更しても構わない）。

【対象】

【方法】

【結果】

【結論】

様式5

論文題目（原題）

原題に対する和訳もしくは英訳

（副論文の内容の要旨）

1文字分スペースを空けること

大阪公立大学大学院医学研究科　○○○○学

大阪　太郎

科目主担当および研究指導　○○　○○　教授

研究指導を届け出ている場合の記載

　科目主担当　○○　○○　教授

　研究指導　　 ○○　○○　教授

【目的】

※【目的】以下、内容の要旨を800字程度で記載すること。（邦文）

※すべての項目を必要としないが、なるべく近い形で作成し、必ず1枚に収めること（1行の文字数、行数を変更しても構わない）。

【対象】

【方法】

【結果】

【結論】